かつうら

議会だより

№ 143

平成２４年１１月
勝浦市議会報
編集委員会
電話 0470(73)6662

目　次

9月定例会の経緯　…2ページ
常任委員会の審査内容　…2ページ
特別委員会の審査内容　…3ページ
追加議案
一般質問　…5～9ページ
9月定例会議案審議結果　…10ページ
みなさんの議会を傍聴しませんか
編集後記

彼岸花と鐘撞堂
（市野川地区）

9月定例会

勝浦市観光交流施設設置管理条例の制定や平成24年度一般会計補正予算など21議案を可決・認定・承認・同意

平成24年9月定例会は、9月10日から9月27日までの会期18日間で開かれました。

本定例会では、勝浦市観光交流施設設置管理条例の制定、平成23年度各会計決算認定など市長提出議案18件のほか、陳情3件、議員提出議案3件を審議しました。

その結果、議案18件及び発議案3件が原案のとおり可決・認定・承認・同意され、陳情1件が採択、2件が一部採択となりました。

平成23年度勝浦市一般会計他3特別会計の決算認定、水道事業会計の利益の処分及び決算認定については、決算審査特別委員会を設置し審査を行いました。

その結果、4会計については認定、水道事業会計については原案可決及び認定されました。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告があり、監査委員より決算審査意見、財政健全化審査意見、経営健全化審査意見の報告がありました。

即決議案

◆議案第35号　夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

夷隅地域農林業センターの所有者及び運営管理者の変更に伴い、本規約の一部を改正することについて、関係市町と協議するに当たり、議会の議決を求めようとするもの

◆議案第36号　専決処分の承認を求めることについて（平成24年度勝浦市一般会計補正予算）（第3号）

歳入歳出予算の補正で既定予算に280万円を追加し、予算総額を81億7千156万円にしようとするもの

※（補正内容）

平成24年7月3日に発生した豪雨による災害復旧経費であり、緊急を要することから7月23日に専決処分したもの

常任委員会の審査内容

今期定例会では、総務常任委員会を9月19日、建設経済常任委員会及び教育民生常任委員会を9月20日にそれぞれ開催し付託された議案及び陳情の審査を行いました。

その審査結果が9月27日の本会議で各委員長から報告され可決・採択・一部採択されました。

総務常任委員会

◆議案第40号　勝浦市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

災害対策基本法の一部を改正する法律が平成24年6月27日に施行されたことに伴い、本条例について、所要の改正をしようとするもの

◆議案第41号　勝浦市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

災害対策基本法の一部を改正する法律が平成24年6月27日に施行されたことに伴い、本条例について、所要の改正をしようとするもの

◆議案第42号　平成24年度勝浦市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の補正で既定予算に10億6千793万円を追加し、予算総額を92億3千949万千円にしようとするもの

※主な内容

緊急雇用創出事業

①災害時要援護者避難支援プラン作成業務委託料　1千333万5千円

②河川環境状況調査等業務委託料　1千500万円

③不法投棄監視パトロール等業務委託料　530万円

・障害者虐待防止対策事業　215万円

・子ども医療費助成事業　241万2千円

・避難路整備事業　2千250万円

・豊浜小学校体育館耐震補強及び大規模改修事業　1億4千265万2千円

・総野小学校体育館耐震補強及び大規模改修事業　1億4千516万2千円

・勝浦小学校体育館耐震補強及び大規模改修事業　1億千249万6千円

・勝浦中学校体育館改築事業　4億2千469万4千円

・北中学校体育館耐震補強及び大規模改修事業　1億833万6千円

・市営野球場代替施設整備事業　900万円

建設経済常任委員会

◆議案第39号　勝浦市観光交流施設設置管理条例の制定について

本市における地域活性化を図るとともに、観光客の利便性の向上及び交流人口の拡大に資するため、勝浦市水道課の旧事務所を観光交流施設として設置し、本条例を制定しようとするもの

教育民生常任委員会

◆議案第37号　千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

住民基本台帳法の一部を改正する法律等が平成24年7月9日から施行されたことに伴い、本規約の一部を改正することについて、関係地方公共団体と協議するに当たり、議会の議決を求めようとするもの

◆議案第38号　勝浦市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

千葉県において平成24年12月1日から子ども医療費について助成対象を

拡大し、現物給付化することに伴い、本条例について、所要の改正をしようとするもの

◆議案第43号　平成24年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の補正で、既定予算に2千960万6千円を追加し、予算総額を29億6千96万6千円にしようとするもの

◆議案第44号　平成24年度勝浦市介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の補正で、既定予算に3千668万9千円を追加し、予算総額を20億5千917万9千円にしようとするもの

◆陳情第2号　「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書について

◆陳情第3号　社会保障としての国民健康保険制度を守り、改善を求める陳情

◆陳情第4号　介護保険制度の改善を求める陳情

議員提出議案3件を可決

議員提案により発議が提出、発議案第6号は賛成多数で、第7号及び第8号は全会一致で可決され、意見書3件については関係行政庁へ送付されました。

◆発議案第5号　「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書について

◆発議案第6号　社会保障としての国民健康保険制度を守り、改善を求める意見書について

◆発議案第7号　介護保険制度の改善を求める意見書について

決算審査特別委員会

付託された議案について、9月24日及び25日の2日間にわたり審査を行い、平成23年度勝浦市一般会計歳入歳出決算他4会計の審査結果を9月27日の本会議で委員長から報告され、その後反対討論及び賛成討論を経て採決が行われ、一般会計歳入歳出決算他4会計については、賛成多数で認定・原案可決及び認定されました。

追加議案

最終日に市長から追加議案が3件提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

◆議案第50号　平成24年度勝浦市一般会計補正予算（5号）

歳入歳出予算の補正で既定予算に799万3千円を追加し、予算総額を92億4千748万4千円にしようとするもの

※補正内容

7月3日から4日にかけて発生した豪雨により被災を受けた農地農業用地、道路等の災害復旧費

◆議案第51号　教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員の関光彦氏の任期が平成24年9月30日に満了することに伴い、引続き関光彦氏を任命することについて議会の同意を求めようとするもの

氏名　関　光彦
住所　勝浦市松野526番地
年齢　59歳

◆議案第52号　教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員松本昭男氏の任期が平成24年9月30日に満了することに伴い、新たに小西由里子氏を任命するにあたり、議会の同意を求めようとするもの

氏名　小西由里子
住所　勝浦市新官946番地21
年齢　50歳

決算審査特別委員会を設置
―7人の委員で審査―

平成23年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の歳入歳出決算、水道事業会計の利益の処分及び決算の5会計を審査するため、7人の委員による特別委員会を設置しました。

この委員会は、24日、25日の2日間、平成23年度の予算の執行・財政運営・行政効果などを審査しました。

委員は次のとおりです。

委　員　長…土屋　元
副委員長…佐藤啓史
委　　員…磯野典正、板橋　甫、刈込欣一、末吉定夫、藤本　治

【議会日誌】

8月
- 1日　夷隅郡市広域ごみ処理施設建設推進委員会（いすみ市）
- 6日　千葉県南12市議会議長会事務局職員研修会（南房総市）
- 10日　南房総広域水道企業団運営協議会（大多喜町）
- 21日　千葉県南部地区議会道路整備協議会要望活動（東京都）
- 23日　国民健康保険運営協議会
- 31日　夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会（いすみ市）

9月
- 5日　議会運営委員会
- 10日　9月定例会　本会議・議会改革検討委員会
- 12日　本会議（一般質問）
- 13日　本会議（一般質問）
- 18日　本会議
- 19日　総務常任委員会
- 20日　建設経済常任委員会・教育民生常任委員会
- 24日　決算審査特別委員会
- 25日　決算審査特別委員会本会議（最終日）・議会改革検討委員会
- 27日

10月
- 5日　夷隅郡市広域ゴミ処理施設建設推進委員会（いすみ市）
- 10日　千葉県市議会議長会事務局長会議（千葉市）
- 10日～12日　全国都市問題会議（岩手県盛岡市）
- 14日　コスモスフェスタin勝浦
- 15日～16日　議会運営委員会行政視察（長野県塩尻市）
- 22日　千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）
- 24日～26日　全国漁港漁場大会（青森市）
- 26日　教育民生常任委員会行政視察（鴨川市・館山市）
- 29日～30日　総務常任委員会行政視察（新潟県五泉市）

議会トピックス

決算審査特別委員長報告

本決算審査特別委員会に付託されました議案第４５号ないし議案第４８号、以上４件の決算認定について、議案第４９号利益の処分及び決算認定について以上５件の審査経過と結果について、その概要をご報告いたします。

当決算審査特別委員会は、去る９月２４日及び２５日の２日間、付託議案を審査するため委員会を開催し、執行部より市長、副市長、教育長並びに関係課長の出席を求めその審査を終了いたしました。

その結果、議案第４５号ないし議案第４９号以上５件については、賛成多数で、お手元に配布の委員会審査報告書のとおりそれぞれ認定、原案可決及び認定すべきものと決定いたしました。

なお、本決算審査特別委員会における審査の過程におきまして、各委員から質疑・意見・要望があり、その主なものを申し上げますと、まず、一般会計歳入歳出決算歳入では、市税徴収率について、不納欠損、収入未済が多く出ているが、この取組みについて質したところ、住民税関係については昨年から市内事業所にお願いして特別徴収を推進しており、若干ではあるが増加している。徴収体制については、滞納者の実態調査を徹底し、一人ひとりに即した納税相談等により納税を促す方法に重点を置いて実施し、高齢者や交通弱者については職員が徴収に出向くというようなきめ細かな対応で取組んでおり、徴収率も徐々に成果は上がってきていると答弁がありました。

また、市営住宅の家賃滞納に対する対応については、夜間の訪問、職場訪問等を併用して積極的に徴収に努め、退去も視野に入れた納入指導も考えていくとの答弁がありました。次に、地方債を含めた今後の財政見通しについて質したところ、今後の地方債の償還で、庁舎建設に伴う起債の償還が将来的に見えてきたことから、今後の財政展開をするある程度の余裕が出来たので、これらを踏まえて考えていきたいと答弁がありました。

次に、歳出については、民生費では放課後児童健全育成事業について、現在５ヶ所で実施しているが、実施していない小学校で実施する考えはないか質したところ、基本的には申請に基づき実施しているが、今後色々な事情を考慮して検討したい、また、この決算を踏まえて、来年度以降の子育て支援対策について質したところ、保育所の再編・統合も考えて、保育時間の延長等により子育て支援の充実を図っていきたいと答弁がありました。

次に、衛生費では、合併処理浄化槽設置事業補助金について、現在は一般家庭を対象としているが、今後法人を対象とする考えはあるか質したところ、市単独で補助するかどうかは今後の財政状況にもよるが、現在では法人向けの補助については考えていないと答弁がありました。

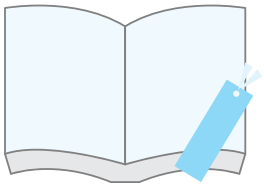
最後に、総括質疑において、今決算審査特別委員会での意見・要望等について、出来る限りの範囲で新年度予算編成にあたって反映させてもらいたいとの要望がありました。

以上を申し上げまして、決算審査特別委員長の報告を終わります。

・・・一般質問・・・　市政のココが聞きたい

９月１２日・１３日の２日間、市政全般について一般質問が行われました。

12日	根本　　譲 1.防災対策について 2.通学路の安全確保について	
	藤本　　治 1.生活保護バッシングを許さず、貧困から国民生活を守ることについて 2.子ども医療費助成制度の拡充について 3.保育所の高台移転と保育施設の再編・整備について 4.住宅リフォーム助成制度の実績と今後の拡充について 5.高校統廃合問題と勝浦若潮高校の存続について	
	吉野　修文 1.農業政策（基盤整備事業）について 2.環境問題（鶏糞処理）について	
	渡辺　玄正 1.防災計画について	
	松﨑　栄二 1.市道勝浦・荒川線について 2.勝浦市の観光について	
13日	鈴木　克己 1.再生可能エネルギーによる発電設備設置促進について 2.勝浦市地域環境総合計画について	
	磯野　典正 1.公営（市営）住宅について	
	戸坂　健一 1.勝浦若潮高校について 2.海洋エネルギーについて	
	佐藤　啓史 1.不妊治療について 2.子育て支援について 3.元新戸小学校跡地について	



防災対策について

根本　譲 議員（公明党）

問 避難所において女性や少数弱者と言われる人の配慮は、どのような配慮がなされているか。

答 避難所における女性などのプライバシー保護につきましては全国的な課題になっているところであります。対策として、着替えや授乳などの専用ブースの設置が挙げられますが、プライバシー保護につきましては、現時点で避難所になっている各校舎の空き教室や更衣室、放送室等の利用を予定しております。

問 避難所の防災機能向上の取組みについて

答 学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であると共に、災害時には地域住民の避難場所としての役割をも果たしていることから、安全確保につきましては、早急な対応が必要であると考えます。各体育館の設計段階で、障害を持った方々が避難してきたことを想定し、スロープや多目的トイレなどバリアフリー化、地デジアンテナ設置など、防災機能の向上に取り組んでいます。

問 教育における取組から、小中学校における救命講習及び一時救命処置教育について所見は。

答 毎年、消防署より講師を招き救急法の講習をしております。応急処置の講習については、中学2年生の保健体育の分野で8時間の授業を行っております。今後も学校で開催する救急法講習や応急処置教育のより一層の推進に努めます。

問 防災士の育成については、当市にとって市民の防災意識の向上につながるものであるが、資格取得の費用助成などの考えはないか。

答 災害時は地域などの要請による避難や救助活動に尽力されるので、その育成は重要と考えますが、個人の任意の資格取得でありまして、助成の考えはありません。

通学路の安全確保について

問 市道トンネルの安全性について伺います。

答 海岸線のトンネルの多くは、地質が岩盤であり、表面処理と内面の強度の増強として、アンカーピンを打ち込み溶接金網を張りコンクリート吹き付け処理をして、長年その強度を保ってきました。今後とも安全確保のため、トンネル内の定期点検に努めてまいります。

問 救急合同総点検の結果について伺います。

答 各小中学校では合同点検後に危険箇所改善に係る要望書を道路管理者や警察署に提出しており、通学路の安全を確保するための施策を検討しております。

問 通学路の安全点検は継続的に行わなければならないと思うが。

答 今後も危険個所の要望があれば道路管理者、警察署、学校、教育委員会による合同点検を実施したいと考えております。

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は勝浦市議会会議録をご覧下さい。

藤本　治 議員
（日本共産党）

保育所の高台移転と27年以降の再編の姿

問 興津・鵜原・東保育所の高台への移転計画を説明してください。

答 津波の発生を危惧し暫定処置として、上野・中央・総野保育所を移転先として、園児数の調整や、交通手段の通園バス等を現在検討中です。

問 上野・総野・中央の三カ所への高台移転の後、27年度以降は中央保育所が改築され運用が始まる。330名の子ども達を中央保育所一カ所で保育することは、保育の質を確保する上で巨大すぎ、あり得ないと思うがいかがか。

答 今後、適正な規模を検討して決定したい。

問 二年間は中央・上野総野の3保育所が運営され、地の利からもこれを将来も定着させることが合理的と考える。ただ、現在総野は30名で、乳児保育がやられていない。どう総野地区を位置づけているか。

答 県内の事例もいろいろあり、検討したい。総野の園児数は今後減少していくと考えています。

問 一カ所あるいは二カ所を選択肢としているとすれば、父母や地域の利便性に応えるよりも、行政の効率化を優先させることになりはしないか。

答 保護者・地域の要望等を今後検討したい。

問 中央保育所の改修規模を決定する時期はいつになりますか。

答 少なくとも今年度中と考えています。

高校統廃合問題と勝浦若潮高校の存続

問 市は統廃合計画の中止・撤回を求める立場で行動を起こすべきと考えるが、どう行動するつもりか。

答 これは県教育員会の権限により策定されたものであり、覆すことは困難なこと。現在、存続させるか廃止するか、仮に存続させる場合に市立または私立への移行かをも含め、調査、検討しています。

問 人口の過半数を超える署名を寄せた市民をよりどころとし、相談しながら事を進めるべきと思うが、見解を問う。

答 調査、検討が煮詰まった段階で、署名収集にご尽力いただいた区長会関係者、漁業関係者等にご意見を伺いたいと考えております。

問 現在、中学3年生が進路を考える時期にさしかかっていますが、中学校関係者の意識をどう把握していますか。

答 今のところは承知しておりません。

問 県立高校として存続させる構えはあるんですか、ないんですか。

答 県のプランは納得できないが、これを覆して県立高校として若潮高校を残してくれというのは現実的に難しい。

問 中学校関係者の不安は情報が少ないから、情報を提供しながら、市民の意見をくみ上げることが今こそ必要です。

吉野　修文 議員
（新世会）

農業政策（基盤整備）について

問 農業従事者の高齢化また、担い手が減少するなか基盤整備事業をどのように進めるか。

答 本市農業の基幹である水田農業は、従事者の高齢化や担い手不足、有害獣被害により生産意欲が減退しております。

このような状況の中、耕作放棄地の抑制や地域の中心となる意欲のある経営体への農地の利用集積、農業経営の効率化を図る上でも基盤整備をぜひ推進する必要がある。

問 平成23年度の補助率は、国55％県30％地元15％と、県から説明があったが、市が15％を全て持てるのか。

答 地元にも事業費の一部を負担していただきますが、市も基盤整備を推進するため、今後市の財政状況や先例の状況を見極めた上で判断する。

問 基盤整備事業年数を短縮する、負担率を低くする中で10％を市で持っていただけるか。

答 本事業は国庫補助事業であることと、工事は県営事業であることから予算枠の確保、また工事発注段階において県と協議してまいります。

負担率については、市長答弁のとおりです。

問 当市の基盤整備率と近隣市町の基盤整備率を伺いたい。

答 当市の基盤整備率は24・33％、いすみ市78・1％、御宿町41％、大多喜町40・5％です。

問 近隣市町と比べ非常に低い整備率であることから、更に市の考えを伺いたい。

答 高齢化、担い手不足また、農業経営の効率化、農地利用の集積などからぜひ基盤整備を推進する必要がある。負担率について、総野東部と松野地区では、国、県の補助を除いた20％のうち市と地元が10％また、杉戸地区は、市が13％地元が7％でした。

問 勝浦ダムが決壊した場合被害状況のシュミレーションはあるか。

答 現在当市、県においても作成されておりません。今後県と協議していければと考えます。

環境問題について

問 養鶏場跡地に残された鶏糞処理問題ですが平成21年度から本年度までの市政懇談会において、4回に渡り上野地区区長会として質問してきた大森、古新田地区の鶏糞処理が全く手つかずの状況です。今後市としてどう対応するか。

答 本養鶏場跡地については、所有者がまだおられるということから、所有者に面会して、適切な管理、指導をします。

豪雨により河川水の汚濁が著しい場合は、取水停止して、配水池や調整池を効果的に運用して安定的な供給に努めます。

農業用水については、流れ出さないよう指導しますが、仮に流れ出した場合今後検討します。

渡辺　玄正 議員
（共和会）

地震・津波発生時の防災について

問 防災対策の基本的考えと、緊急避難場所の点検をしたのか。高齢者、障害者のために避難経路の整備状況はどうか。街路灯などの設置を考えているか。緊急時の交通規制の権限はどこか。その他、電気・ガス・水道に被害が出た場合の想定と対策を伺いたい。

答 市としては、最大クラスの地震や津波を前提に実効性の高い防災計画の見直しをしている。避難場所の点検は、安全性を確認した上で防災マップに示した。高齢者等のために手すりの設置は適宜行っている。避難経路の照明は、今後検討する。交通規制の権限は、勝浦警察署であるので、署と十分協議していく。電気やガス・水道が被害にあった場合は、被災の程度により復旧に要する日数は異なってくると思うが、水道に関しては、給水袋やポリタンクで対応する。

問 想定外の想定をして防災計画を見直してもらいたい。

答 市でも勝浦市地域防災計画を見直し中である。

問 津波に対する防災堤の効果や建設の可能性の調査結果は出ているのか。

答 防護施設の整備については、海岸保全基本計画の見直し後に検討したい。

問 市は県の防災会議に出席しているのか。

答 出席していない。

問 出席していないと、当市の実情をどの程度県が把握しているか疑問に思う。市は、海岸線の防波堤の見直しを考えているのか。又、海岸線の河川の河口にある水門は何ヵ所設置されているのか。又、未設置の場所の検討をしているのか。

答 興津地区で3ヵ所、鵜原で1ヵ所設置されている。未設置の水門については、県や夷隅土木事務所と協議を重ねていきたい。

問 主に高齢者や障害者のために、高台を含む避難路の点検・整備を定期的に実施する必要があると考える。その他、パニック状態の中で、車輌で避難する住民のための交通規制が必要だと思うが、見解を伺いたい。

答 その通りだと思う。交通規制に関しては、勝浦警察署の所管になるので、署と早急に協議すると共に、防災会議でもそのあたりを十分考慮して計画の見直しを図る。

問 地域住民の生命の安全と安心を図るため、市の防災対策と計画について改めて伺いたい。

答 防災対策は、市の最重要課題のひとつであり、緊急避難路や学校の施設整備は進めている。防災計画を引き続き見直し、具体的な事業を進めていきたい。それと共に自主防災の組織作りをしながら、防災訓練を実施したいと考えている。

松﨑　栄二 議員
（新創かつうら）

市道勝浦荒川線について

問 串浜春日台から、かつうら聖苑までと、清掃センターから国道297号線に接続されている中谷廻り山線の狭隘な部分の道路拡幅工事早期着工について、現在の状況と今後の取り組みは。

答 勝浦荒川線と中谷廻り山線の未整備区間につきまして両路線の相当部分は㈱串浜企画の開発計画区域に含まれておりますが、社会経済情勢等による事業実施が厳しいことから早期の計画の見直し、事業化が図られるよう協議していきたい。なお、道路に覆い茂った木の枝等につきましては、危険な箇所は市職員で伐採を行っており、開発業者には、支障箇所の伐採の要請をしております。

問 地権者の開発計画の変更を待つより道路の拡幅を優先出来ないか。

答 次回協議の折に道路の着手について協議いたしたいと思います。

勝浦市の観光について

問 今後も市街地・海岸一辺倒での内容で続けていくのか伺います。

答 各イベントを開催するにあたり各実行委員会の中で協議し、決定しており、今後もその中で協議し、新たな取り組み等を、決定していきたいと考えております。

問 一極集中型から拠点を分散し、市内全域に行き渡る方策、新たな取組みについて。

答 各種イベントの中で最も集客力のある、かつうらビッグひな祭り会場を巡回するバスの運行を実行委員会の中で検討しております。また、農業体験・貸し農園、既存の体験メニューの整備、新たにレンタサイクルの活用など観光交流施設を拠点に、観光資源の開発と共に、観光情報を発信する中で分散化を図っていきます。

問 山間農林地域の観光ビジネスとして農家民泊を奨励する考えは。

答 農作業・農村生活体験型宿泊施設の奨励は、家族の理解・役割分担・食事・体験メニュー・開業に伴う許認可等、準備があるので今後、考えていきたいと思います。

問 市遊休土地が浜行川地先にあるが有害鳥獣の繁殖場と化する。間伐・草刈り等をして管理する考えはないか。

答 適正な管理を行うことにより、繁殖抑制効果・就労の場の確保等、有効であると思います。
今後、観光施設・公共施設全般の適正配置・財政的裏付け・費用対効果・民間開発等、総合的に検証し開発の可能性について検討します

問 勝浦市の中長期的視野に立った市長の今後の展望をお聞きしたい。

答 先ず防災対策・市民文化会館建設・観光の推進等、課題山積の中、今までの施策をさらに推進して行きます。勝浦は風光明媚であり大好きです。身を粉にして全力で果たして行きたいと思います。

鈴木 克己 議員
（新創かつうら）

再生可能エネルギーによる発電設備設置促進について

問 「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が七月一日に施行され、全国の自治体で、再生可能エネルギーによる大規模な発電設備を誘致する取組みが行われている。市としても民間、市所有遊休地等を活用した大規模太陽光発電（メガソーラー）設備を設置する企業を誘致するための「誘致促進条例」を早急に制定し、関連企業に積極的に働きかけることが望まれるが市長の見解は。

答 メガソーラー発電は社会的環境に応じたエネルギーの安定かつ適切な供給確保とエネルギーの供給に係る環境への負荷の低減が図れることから、健全な地域活性化や発展に寄与するものと考える。設置された場合は固定資産税の増収等が見込めることもあり、推進方策を、先進事例を参考に早急に検討する。

問 既に群馬県川場村で始まっているが、地域資源である森林や竹林を再生させることも可能なバイオマスを利用した発電実証実験施設を誘致し、地域資源、特に発電燃料として孟宗竹を活用することを含め積極的に検討してはいかがか。

答 以前に県でもバイオマス発電実証実験を行った経緯がある。それらを踏まえ循環型社会形成推進にもつながることから推進したいと考える。

問 以前に計画のあった風力発電所設置計画のその後の動向及び市の対応は。また、風力発電設備誘致への考え方は。

答 平成19年度に市及び関係各区への住民説明会が行われたが、景観の破壊や低周波音による影響等により建設反対や事業者への対応が困難な条件提示があり一時休止の状況。21年3月にその後の取り組み方針の報告があった。風力発電誘致は、地元のご理解と協力を得ながら地球温暖化防止等の観点から推進する。

勝浦市地域環境総合計画について

問 地域環境総合計画は今年度が計画最終年度であるが、新計画策定の予算措置がされていない。先ず、19年度から23年度の、環境市民会議、庁内環境検討会の実施状況について伺う。また、各年度の具体的検討、推進対応はどのようになされてきたのか。

答 環境市民会議は、年2回程度開催しているが、庁内検討会は実施しなかった。主な検討等は、浜勝浦川の浚渫、マイバックの推進、鵜原産廃処分場の対応等です。

問 新計画は、どのような手法により検討し策定するのか伺う。

答 現行計画や国県の計画、市総合計画等を整理し、環境市民会議、庁内検討会などにより検討し、策定する。今後、必要に応じて予算を計上する。

磯野 典正 議員
（新創かつうら）

市営住宅について

問 現在の市営住宅の状況、長寿命化計画について
①現在の市営住宅の棟数、築年数ついて
②現在の入居状況、入居率について

答 ①万名浦団地は30棟、昭和34年建築、②入居状況25棟、83％
①旭ヶ丘団地は45棟、昭和35年～36年建築②入居状況45棟、100％
①梨の木団地は16棟、昭和44年～48年建築②入居状況70戸、87・5％
①浜勝浦みなと団地は2棟、昭和45年建築②入居状況32戸、100％

問 浜勝浦みなと団地以外の築40年～50年の木造建築の安全性は？

答 長寿命化計画の結果からも建て替えの方向を予定している。

問 入居率が100％でない理由は？

答 建築物自体の構造を含め、老朽化が激しく修繕費が高額になるため、現在は空き家にしている。（万名浦団地5軒・梨の木団地10軒）うち、梨の木団地の3軒は8月上旬募集をしたが入居申込はなかった。

問 武道大学アパートなどの、民間アパートの借り上げ方式の検討ができないのか？

答 公営住宅法「昭26年施行」の基本性能最低25平方メートル・構造強度・設備・安全性等の性能評価基準を満たした場合は採用対象となるため、今後調査検討を考える。

問 長寿命化計画の結果から立て替えの方針を進める上で、公営住宅法にある（生活の利便性の良い場所）というものの具体的内容は？

答 省令の公営住宅等整備基準で、災害等により住居環境が阻害されることを避け、通勤、通学、日用品の購入など日常生活の利便を考慮し選定するとなっているため、市街地あるいはその周辺と考える。

問 災害等により住宅環境への阻害・日常生活の利便性という解答であったが、現在の状況はその条件にあてはまらないと考えるが？また、建設位置についても検討しているか？

答 長寿命化計画の中で建て替えもあるが、用途廃止の可能性を検討しながら、移設の計画等を今後、宅地整備計画で建設場所・建設規模・構造・年次計画等の策定を予定するなかで、移転候補地についても検討する。

梨の木団地

戸坂　健一　議員
（新創かつうら）

勝浦若潮高等学校の今後について

問 県教育委員会により勝浦若潮高等学校の統合が決定した。県の理不尽な決定を容認する事は出来ないが、この地域から高校を無くさない為の前向きな具体策を練ることも必要だ。統合後には、将来的に市立高校として存続させるのか、私立高校を誘致するのか、あるいはその他の選択があるのか、少なくとも本年中にその方向性を示すべきと考えるが。

答 県教委の再編統合案は到底受入れられないが、県教委の決定を覆す事は大変難しい事も認識している。そこで、高校を存続させる場合について、市立化も含め現在鋭意検討中である。

問 近い将来の統合に向け、多面的に準備を進める事が大切と思うが、今後の具体的なタイムスケジュールを示すべきだと考えるがどうか。

答 現在検討中の諸課題を煮詰めた上で、県とも相談しながら十月を目処に案を作成し、市議会、区長会関係者、漁業関係者等皆さんにご意見を伺って行きたい。

問 市議会関係者から意見を伺うとの事だが、広く市民からも意見を聞く為に委員会の様なものも設置すべきでは？

答 状況によって市民からも広く意見を取り入れるべきと考え、それは弾力的に考えていく。

問 県の教育行政の失敗により、学区外に通う高校生が増え、人材が流出している。志ある若者は地域の宝であり、彼らを育て、活力ある若い勝浦を取り戻す為にも地域内に高校は必要である。市立高校化により、ある分野に特化した、地域の産業発展に資する学科編成を行い、真に魅力ある高校を作るべきでは。

答 地域から高校を無くすべきではないという強い想いは共有する。市立高校化は財政的に厳しいが、可能性については県と相談し今後も検討する。

海洋エネルギー実証試験公募への応募について

問 政府は今後、海洋エネルギー実証試験を行う自治体を、公募によって選定すると発表した。これは波力・潮力発電等海洋エネルギーを利用した発電の実証試験を行う海域「実証フィールド」を沿岸部の自治体から選定するもので、もし選定されれば開発企業、研究者、開発者の拠点となり、産業の誘致や地域振興に繋がる。勝浦市は首都圏に近く、海洋エネルギーも豊富な好立地である事から、この海洋エネルギー実証試験公募に応募すべきと考えるが。

答 本市は太平洋に面し、豊富な地域であり実証フィールドとしての条件は満たすと考える。今後、公募条件等を見極め、漁業関係者とも相談しつつ応募を検討していく。

佐藤　啓史　議員
（新創かつうら）

不妊治療について

問 現在10組に1組が不妊と言われているが市の取り組みについてお聞きしたい。

答 市民からの相談及び問合せについては、産婦人科医に直接相談するケースが多く、また県内の保健所に相談窓口が設置されていることから、具体的な取り組みは行っていない。

問 過去3年間に不妊治療を受けた組数をお聞きしたい。

答 夷隅健康福祉センターによると、延べ件数で平成21年度4件、平成22年度6件、平成23年度8件となっている。

問 不妊治療は保険が適用されず、高額な治療費が経済的な負担となっている。県では特定不妊治療助成事業を行っているが、市単での助成を行う考えはないか。市の少子化対策の一環として取り組んでいくべきだ。

答 現在のところ市単独の助成事業を行う考えはない。

子育て支援について

保育所について

問 土日を含めた保育所の保育時間の延長を求める。

答 現在進めている海岸線3保育所の高台移転及び勝浦市総合計画で計画されている中央保育所の改築に伴う保育所再編・統合の際に検討したい。

放課後ルームについて

問 市内の放課後ルームの児童数と待機児童数についてお聞きする。

答 9月1日現在の児童数113名、待機児童数2名である。

問 放課後ルームの更なる充実を求める。
①小学4年生以上にも拡大できないか。
②利用時間の延長はできないか。
③市内の全小学校区に放課後ルームを設置できないか。具体的には豊浜小学校区、清海小学校区にも設置できないか。

答 ①②の対象学年の拡大、時間延長については、施設の確保。指導員の確保等が困難なため、現在のところ実施する考えはない。③の放課後ルームについては、勝浦地区2箇所、興津、上野及び総野地区にそれぞれ一箇所ずつ均等に開設しており、今のところ全小学校区の開設する考えはない。

元新戸小学校跡地について

問 元新戸小学校跡地に建設予定の学校給食共同調理場の基本設計が概ねまとまり、新戸区をはじめ各区で2回目の地元説明会が行われている。2回目の地元説明会でのご意見・ご要望等に対してどのように対応するのかをお聞きしたい。

答 ご意見、ご要望については、概ね前回と同様であるが、地域住民のご要望に前向きに対応する予定である。

９月定例会審議結果

議案番号	件　　名	結 果
議案第３５号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決◎
議案第３６号	専決処分の承認を求めることについて（平成２４年度勝浦市一般会計補正予算）	承認◎
議案第３７号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決◎
議案第３８号	勝浦市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第３９号	勝浦市観光交流施設設置管理条例の制定について	可決◎
議案第４０号	勝浦市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第４１号	勝浦市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第４２号	平成２４年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第４３号	平成２４年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	可決◎
議案第４４号	平成２４年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	可決◎
議案第４５号	決算認定について（平成２３年度勝浦市一般会計歳入歳出決算）	認定○
議案第４６号	決算認定について（平成２３年度勝浦市国民健康保険特別会計歳入歳出決算）	認定○
議案第４７号	決算認定について（平成２３年度勝浦市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）	認定○
議案第４８号	決算認定について（平成２３年度勝浦市介護保険特別会計歳入歳出決算）	認定○
議案第４９号	利益の処分及び決算認定について（平成２３年度勝浦市水道事業会計決算）	可決及び認定◎
議案第５０号	平成２４年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第５１号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意○
議案第５２号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意○
陳情第２号	「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書の提出を求める陳情	採択○
陳情第３号	社会保障としての国民健康保険制度を守り、改善を求める陳情	一部採択◎
陳情第４号	介護保険制度の改善を求める陳情	一部採択◎
発議案第５号	「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書	可決◎
発議案第６号	社会保障としての国民健康保険制度を守り、改善を求める意見書	可決◎
発議案第７号	介護保険制度の改善を求める意見書	可決◎

※一部採択…複数ある陳情項目のうち、ある項目のみを採択する方法　　◎全会一致　○賛成多数

編　集　後　記

議会だより第143号をお届けします。

本号は、平成24年９月定例会について編集いたしました。

詳しい内容は、市立図書館及び市役所情報公開コーナーに備えてあります『勝浦市議会会議録』をご覧下さい。また市のホームページにおいてもご覧いただけます。（http://www.city.katsuura.chiba.jp）

お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、勝浦市議会報編集委員会までお知らせください。

勝浦市新官1343-1　勝浦市議会事務局内
勝浦市議会報編集委員会　☎７３-６６６２

みなさんの議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局へお申し出ください。

【傍聴者の状況】

平成23年12月定例会　68名
平成24年３月定例会　47名
平成24年６月定例会　29名
平成24年９月定例会　43名